

合格証明書

QC PASS



Wechat
Official Account

GODOX WeChat 公式アカウント

深セン市神牛摄影器材有限公司

所在地：深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区工場 2 棟

FAX:0755-25723423 メールアドレス :godox@godox.com

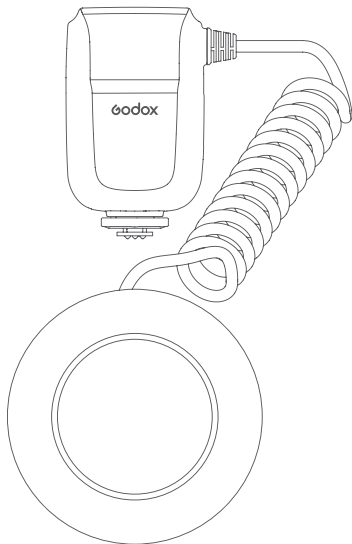
電話 :0755-29609320(8062)

www.godox.com

Made in China | 705-MFR76C-03



Godox



MF-R76 ©

TTL マクロリングフラッシュライト

取扱説明書

前書き

Godox の製品をお買い上げいただきありがとうございます！

TTL マクロフラッシュライト MF-R76C はキヤノンカメラに適し、E-TTL II オートフラッシュに対応できます。2.4G 無線送受信、2 種類のフラッシュ出力モード、複数段階の電力調整など、多くの特性を備え、昆虫撮影、植物撮影、ジュエリー撮影、口腔歯科撮影などのマクロ撮影シーンに適します。

主な特長

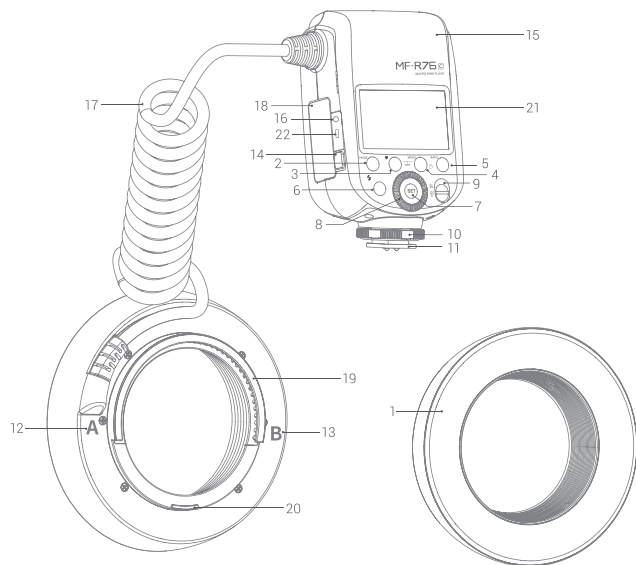
- 近接撮影時に本体はフラッシュライトの光を遮らず、四隅に暗くなることなく、カゲもない
- 1/1 全電力 -1/256 電力間で 1/3 EV で調整可能な複数段階の精密制御
- 2.4 G 無線送信と受信を兼ね備え、ワイヤレスフラッシュにマスターライトとしてスレーブライトとして使用できる
- リチウムイオンバッテリーにより電力を供給し、超長い持続使用時間、1/1 全電力フラッシュ回数は最大 550 回
- ライト本体の取り付けが便利で、柔軟性が高く、49 mm-77 mm 口径のカメラレンズに適す
- 2 つのフォーカス補助ライト、10 段階の輝度調整、暗い環境でのフォーカスがより容易
- 極めてシンプルなユーザーインターフェースで、操作が簡単で便利

警告

- ⚠ この製品を乾いた状態に保ってください。
- ⚠ この機器を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
- ⚠ お子様为本製品に触れないようにしてください。
- ⚠ 分解、ぶつかり、押し付け、または火中に投入しないでください。膨張している場合は、引き続き使用しないでください。50℃を超えた高温環境には置かないでください。
- ⚠ フラッシュヘッドを人の目（特に赤ちゃんの目）に向けて使用しないでください。短時間で視力障害になる可能性があります。
- ⚠ 化学品、可燃性ガス、その他の特別な物質の近くでフラッシュを使用しないでください。特別な場合において、これらの物質はフラッシュが発する瞬間の強い光に敏感で、火災や電磁妨害を引き起こす可能性があります。このような場合は、関連する警告サインに注意してください。
- ⚠ 本製品は防水ではありませんので、雨の日や湿気の多い環境では防水にご注意ください。

部品名

ライト本体



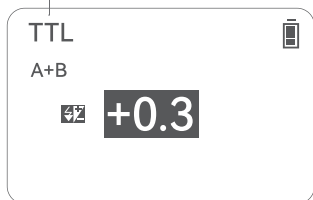
01. ライトヘッド
02. MODE ボタン
03. フォーカス補助ライトボタン (1~10 段階調整可)
04. MENU/ ロックボタン
05. RATIO ボタン
06. フラッシュボタン
07. SET ボタン
08. 調整ダイヤル
09. オン / オフボタン
10. ロックリング
11. ホットシュー

12. フラッシュライト A
13. フラッシュライト B
14. バッテリー取り外しボタン
15. コントローラ本体
16. 2.5 mm 同期差込口
17. ケーブル
18. リチウムバッテリー
19. レンズアダプタリング接続口
20. 取り外しバヨネット
21. 表示画面
22. Type-C ポート

ディスプレイ

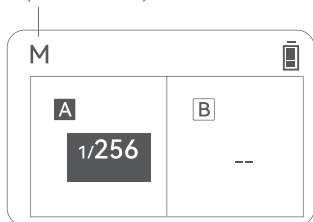
TTL 自動フラッシュモード

TTL : TTL 自動フラッシュ



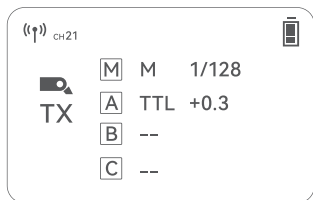
M (手動) フラッシュモード

M (手動フラッシュ)



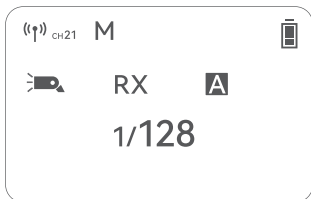
2.4G 無線伝送、マスターライトとして

- A: フラッシュグループ A
- B: フラッシュグループ B
- C: フラッシュグループ C
- D: フラッシュグループ D

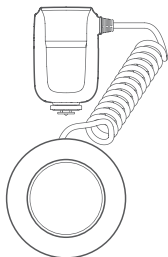


2.4G 無線伝送、スレーブライトとして

RX: スレーブフラッシュグループ (A、B、C から選択可)



同梱物



TTL マクロリングフラッシュライト×1



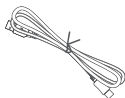
レンズアダプタリングキット AR-R Kit × 1



リチウムバッテリー
× 1



USB 充電スタンド
× 1



Type-C-USB 充電ケーブル
× 1



収納袋
× 1

バッテリー

1. この製品は 7.2V/3000mAh リチウムバッテリーを採用し、耐用年数が長いです。
2. 安全で信頼性が高く、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護機能を備えます。

注：マクロリングフラッシュライト MF-R76C は GODOXV1 リチウムバッテリー VB26 と GODOXAD100Pro リチウムバッテリー WB100(7.2V/2600 mAh 又は 7.2V/3000mAh) を共通する。

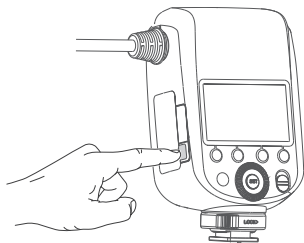
注意事項

1. 正負極の短絡を避けてください。
2. バッテリーは防水機能がない、霧や水に浸さないでください。
3. 子供の手が届かないところに保管してください。
4. バッテリーの充電は 24 時間以上放置しないでください。
5. バッテリーを涼しい場所、乾燥した場所、換気の良い場所に保管してください。
6. バッテリーを火に近づくか、火の中に投げないでください。
7. バッテリーの廃棄は現地の規定に従ってください。
8. バッテリーは 3 ヶ月以上使用しない場合は、完全充電してください。
9. 長期間使用しない場合は、60% まで充電してから保管してください。

バッテリーの取付けと取外し

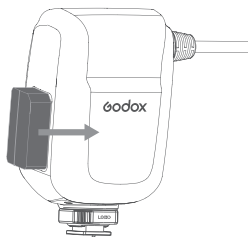
1. バッテリーの取外し

バッテリーボタンを長く押し、バッテリーを下に押すと取り出すことができます。



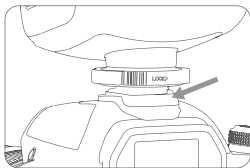
2. バッテリーの取付け

バッテリーの指示方向に従ってリチウムバッテリーをバッテリーケースに挿入し、ファスナーが引かかるまで挿入すると取り付けられます。

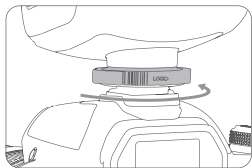


コントローラを取付け

1. コントローラホットシューを摺動してカメラホットシューに完全に挿入させます。



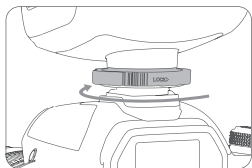
2. ロックリングを締め付ける：ロックリングを反時計回りに回転させて締め付けます。



コントローラを取外し

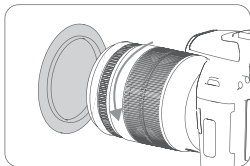
1. ロックリングを緩める

ボタンを押したまま時計回りにロックリングを緩め、コントローラをカメラホットシューから取り外します。



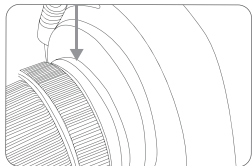
リングフラッシュライトの取付け

1. 適切なレンズアダプタリングを時計回りに回転させてカメラレンズの手前に取り付けます。



注：本製品はそれぞれ49 mm、52 mm、55 mm、58 mm、62 mm、67 mm、72 mmと77 mmのカメラレンズリングに適する8規格のアダプタリングを提供できます。

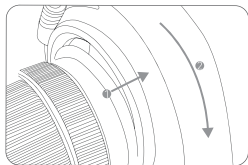
2. アダプタリングを装着したカメラレンズをアダプタリングの接続口に合わせて軽く押さえれば済みます。



注：取り付けられたリングライトは360°回転でき、正常です

リングフラッシュライトの取外し

リングライト背面の取り外し口を見つけ、手で少し力を入れて引き上げながら、右に軽く回すと、リングフラッシュライトがレンズから離脱します。



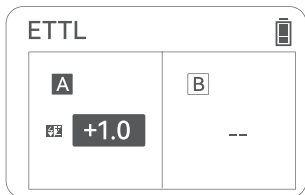
オン / オフ

スイッチボタンを < ON > に押すとオンになります、 < OFF > に押すとオフになります。

ETTL フラッシュモード

< MODE > ボタンを短押ししてモードを切り替え、 < ETTL > モードに切り替えると、表示画面の左上隅に < ETTL > が表示されます。

注：ETTL フラッシュはシャッターが解放する前の瞬間にプリフラッシュを 1 回行い、フラッシュライトはカメラ情報を受信して一次フラッシュを行います。



1. 全体フラッシュの設定

Ratio ボタンを短押しして画面に < ETTL > と < AE > 露光補正值 (-3 ~ +3) を表示させます。

調整ダイヤルを回して露光補正值を設定し、±3 段階で 1/3 段階を増分として設定することができます。



2.A:B フラッシュ光の比の設定

フラッシュライト A とフラッシュライト B の間のフラッシュ光の比を調整し、異なるシーンでの明暗比を生成させます。

1.Ratio ボタンを短押しして画面に <A:B> と <8:1・4:1・2:1・1:1・1:2・1:4・1:8> を表示させます。



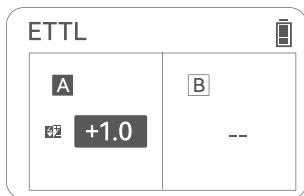
2.SET ボタンを短押しして<1/2> 露光補正値 /A : B フラッシュ光の比を選択し、選択した後に調整ダイヤルを回して露光補正値 /A : B フラッシュ光の比を設定することができます。露光補正値を設定し、± 3 段階で 1/3 段階を増分として設定することができます。A : B フラッシュ光の比を設定し、8 : 1-1 : 8 の間で 1/2 段階を増分として設定することができます。

A:B フラッシュ光の比の範囲 : 8:1-5.6:1-4:1-2.8:1-2:1 -1.4:1-1:1-1:1.4-1:2-1:2.8-1:4-1:5.6-1:8



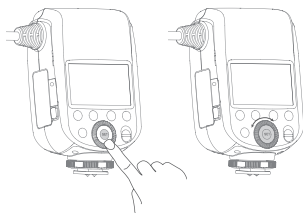
片側フラッシュの設定 (グループ A 又はグループ B フラッシュ)

1.Ratio ボタンを短押しして画面に <A B> と <1/2> 露光補正値 (-3 ~ +3) を表示させます。



2.SET ボタンを短押ししてフラッシュライト A 片側 / フラッシュライト B 片側フラッシュを選択でき、選択した後に調整ダイヤルを回して露光補正値を設定し、 ± 3 段階で 1/3 段階を増分として設定することができます。

注：1. フラッシュ露光補正における「0.3」は 1/3 段階、「0.7」は 2/3 段階を表します。
2. フラッシュ露光補正をキャンセルするには、補正値を「 ± 0 」に調整してください。



M (手動) フラッシュモード

<MODE> ボタンを短押ししてモードを切り替え、<M> 手動フラッシュモードに切り替えると、表示画面の左上隅に <M> が表示されます。

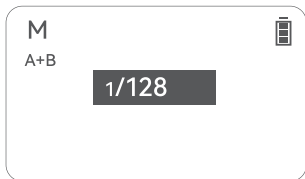
フラッシュライトは 3 つの方法でフラッシュされます：フラッシュライト A とフラッシュライト B は異なる電力でフラッシュ、フラッシュライト A 又はフラッシュライト B のみフラッシュ、フラッシュライト A とフラッシュライト B は同じパワーでフラッシュ。

1. 全体フラッシュのパワー設定

Ratio ボタンを短押しして画面に <M> と出力パワーを表示させます。

調整ダイヤルを回して出力電力を設定し、1/1 フルパワーから 1/256 パワーの間で 1/3 段階を増分として設定できます。

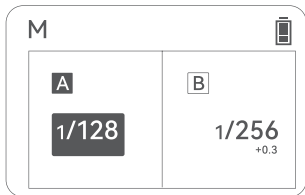
注：高速同期をオンにした場合は、最小パワーは 1/64 です。



2.A:B フラッシュパワーの設定

Ratio ボタンを短押しして画面に <AB> と 2 か所の出力パワーを表示させます。

SET ボタンを短押ししてグループ A パワー / グループ B パワーを選択でき、選択した後に調整ダイヤルを回してグループ A / グループ B パワーを設定し、1/1 フルパワーから 1/256 パワーの間で 1/3 段階を増分として設定することができます。

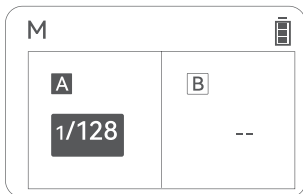


3. 片側フラッシュのパワー設定

Ratio ボタンを短押しして画面に < AB > と片側の出力パワーを表示させます。

SET ボタンを短押ししてグループ A パワー / グループ B パワーを選択でき、選択した後に調整ダイヤルを回してグループ A / グループ B パワーを設定し、1/1 フルパワーから 1/256 パワーの間で 1/3 段階を増分として設定することができます。

注：グループ A がフラッシュを出力すると、グループ B はオフ状態になります。



マスターライトの画面設定

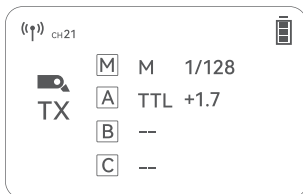
メニューに入り、フラッシュライトをワイヤレスマスターに設定します（詳細はワイヤレス設定項を参照）。

調整ダイヤルを回してグループ M / グループ A / グループ B / グループ C を選択でき、SET ボタンを短押ししてグループ M / グループ A / グループ B / グループ C を選択し、MODE ボタンを短押しすると TTL/M/-- に切り替えることができ、TTL に切り替えると、調整ダイヤルを回してフラッシュ露光補正値を調整し、±3 の間で 1/3 段階を増分としてフラッシュ露光補正値を設定することができます。M に切り替えると、調整ダイヤルを回して 1/1 フルパワーから 1/256 パワーの間で 1/3 段階を増分としてパワーを設定できます。

注：TTL は自動フラッシュ、M は手動フラッシュ、-- はモードオフです。

画面に表示する A、B、C パラメータ値は、それぞれマスターライト A、スレーブライト B、スレーブライト C のパラメータ値です。1 台のマスターライトは最大 3 台のスレーブライトを制御します。マスターライトのフラッシュ出力値はグループ M のフラッシュ出力値です。

スレーブライトを制御するために、マスターライトのワイヤレスチャンネルは、スレーブライトと一致するように設定する必要があります。具体的には、ワイヤレス設定項を参照してください。



スレーブライトの画面設定

メニューに入り、フラッシュライトをワイヤレススレーブに設定します（詳細はワイヤレス設定項を参照）。

SET ボタンを短押しするか、調整ダイヤルを回して A/B/C/D に切り替えることができます。

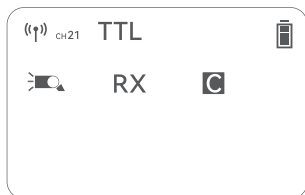
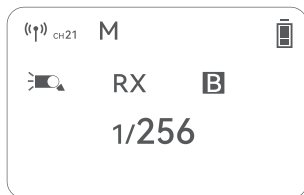
A に切り替える場合は、当該ライトがスレーブライト A に設定されます。

B に切り替える場合は、当該ライトがスレーブライト B に設定されます。

C に切り替える場合は、当該ライトがスレーブライト C に設定されます。

D に切り替える場合は、当該ライトがスレーブライト D に設定されます。

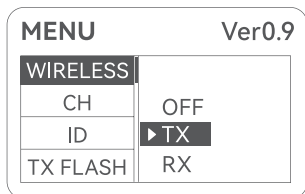
注：スレーブライトのワイヤレスチャンネルは、マスターライトと一致するように設定する必要があります。具体的には、ワイヤレス設定項を参照してください。



ワイヤレス設定

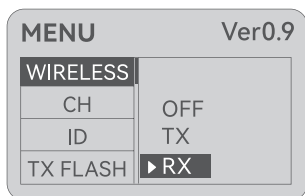
1. フラッシュライトをマスターライトとして設定する

MENU/ ロックボタンを短押ししてメニューに入り、調整ダイヤルを <WIRELESS> に回し、SET ボタンを短押しして画面に入り、調整ダイヤルを回して <TX> を選択します。設定後に SET ボタンを短押ししてメニューに戻ります。



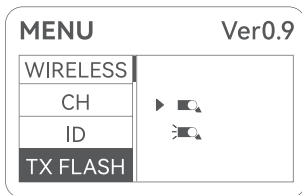
2. フラッシュライトをスレーブライトとして設定する

MENU/ ロックボタンを短押ししてメニューに入り、調整ダイヤルを <WIRELESS> に回し、SET ボタンを短押しして画面に入り、調整ダイヤルを回して <RX> を選択します。設定後に SET ボタンを短押ししてメニューに戻ります。



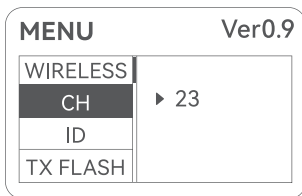
3. マスターフラッシュライトのフラッシュを設定する

MENU/ ロックボタンを短押ししてメニューに入り、調整ダイヤルを <TX FLASH> に回し、SET ボタンを短押しして画面に入り、調整ダイヤルを回してを <☑> 又は <☒> を選択します。<☑> を選択すると、マスターフラッシュライトがオフになり、すなわち、このライトがマスターライトとして使用されている場合、ワイヤレスフラッシュ撮影時にフラッシュしません。<☒> を選択すると、マスターフラッシュがオンになり、すなわち、このライトがマスターライトとして使用されている場合、ワイヤレスフラッシュ撮影時に正常にフラッシュします。



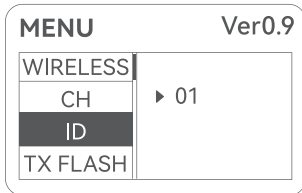
4. ワイヤレスチャンネルの設定

MENU/ ロックボタンを短押ししてメニューに入り、調整ダイヤルを <CH> に回し、SET ボタンを短押しして画面に入り、調整ダイヤルを回して 01-32 を選択します。設定後に SET ボタンを短押ししてメニューに戻ります。



5. ワイヤレス ID の設定

MENU/ ロックボタンを短押ししてメニューに入り、調整ダイヤルを <ID> に回し、SET ボタンを短押しして画面に入り、調整ダイヤルを回して OFF/01-99 を選択します。設定後に SET ボタンを短押ししてメニューに戻ります。



ワイヤレスマルチフラッシュ撮影 (ワイヤレス 2.4 G 出力)

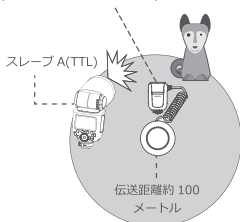
本章では、主にフラッシュライト MF-R76C をマスターライトとして、2.4 G ワイヤレス受信機能を備えるフラッシュライト (例えば神牛 MF-R76C、GODOXAD 100PRO、GODOXV860 III などのフラッシュライト) を搭載し、2.4G ワイヤレス伝送方式でワイヤレスマルチフラッシュ撮影を行う方法を説明します。

本章では、カメラに取り付けられる MF-R76C を「マスターライト」、ワイヤレスで制御されるフラッシュライト (GODOXMF-R76C、GODOXAD100PRO、GODOXV860III などのフラッシュ) を「スレーブライト」と呼びます。

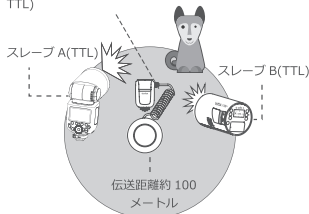
1.TTL:TTL オートフラッシュ出力を用いたワイヤレスマルチフラッシュ撮影

MF-R76C (マスターライト) フラッシュグループ (A、B、C、D) をすべて <TTL> に設定し、スレーブライトを操作する必要がありません。スレーブライト A/B/C/D は自動的にフラッシュしてワイヤレスマルチフラッシュ撮影を行います。マスターライトに設定された露光補正值は、手動でスレーブライトを設定する必要はなく、スレーブライトもマスターライトに追従して自動的に設定されます。

マスターライト
(フラッシュグループ A:TTL)

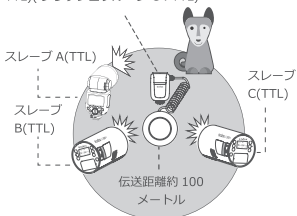


マスターライト
(フラッシュグループ A:TTL)(フラッシュグループ B:
TTL)



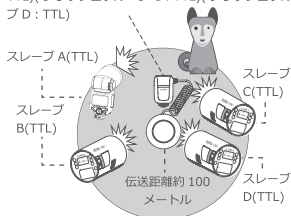
1つのスレーブライトを使用して自動フラッシュ撮影を行います

マスターライト
(フラッシュグループ A:TTL)(フラッシュグループ B:
TTL)(フラッシュグループ C:TTL)



3つのスレーブライトを使用して自動フラッシュ撮影を行います

マスターライト
(フラッシュグループ A:TTL)(フラッシュグループ B:
TTL)(フラッシュグループ C:TTL)(フラッシュグループ
D:TTL)

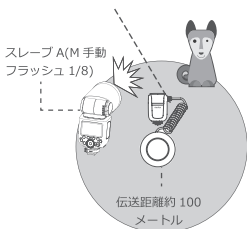


4つのスレーブライトを使用して自動フラッシュ撮影を行います

2. M : M 手動フラッシュ出力を用いたワイヤレスマルチフラッシュ撮影

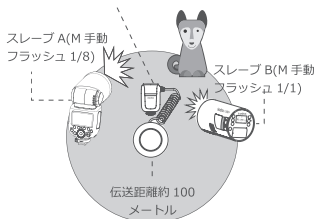
MF-R76C (マスターライト) フラッシュグループ (A、B、C、D) は、統一されたフラッシュ出力パワーに設定するか、異なる出力パワーに設定することもできます。上記の操作と同じように、手動でスレーブライトを設置する必要がありません。スレーブライト A/B/C/D はマスターライトに追従して自動的にフラッシュ出力パワーを設定してワイヤレスマルチフラッシュ撮影を行います。

マスターライト
(フラッシュグループ A:M 手動フラッシュ 1/8)



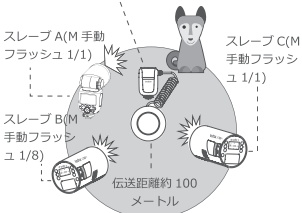
1つのスレーブライトを使用してワイヤレスフラッシュ撮影を行います

マスターライト
(フラッシュグループ A:M 手動フラッシュ 1/8)(フラッシュグループ B:M 手動フラッシュ 1/1)



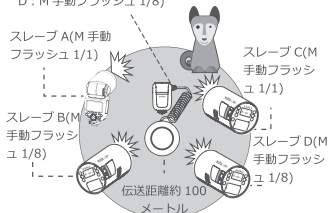
2つのスレーブライトを使用してワイヤレスフラッシュ撮影を行います

マスターライト
(フラッシュグループ A:M 手動フラッシュ 1/1)(フラッシュグループ B:M 手動フラッシュ 1/8)(フラッシュグループ C:M 手動フラッシュ 1/1)



3つのスレーブライトを使用してワイヤレスフラッシュ撮影を行います

マスターライト
(フラッシュグループ A:M 手動フラッシュ 1/1)(フラッシュグループ B:M 手動フラッシュ 1/8)(フラッシュグループ C:M 手動フラッシュ 1/1)(フラッシュグループ D:M 手動フラッシュ 1/8)



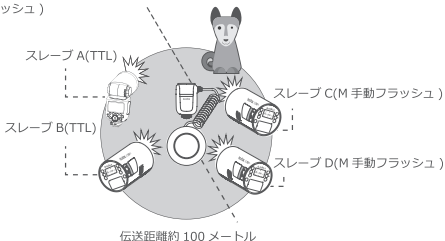
4つのスレーブライトを使用してワイヤレスフラッシュ撮影を行います

3. 異なるフラッシュモード出力を用いたワイヤレスマルチフラッシュ撮影

MF-R76C (マスターライト) フラッシュグループ (A、B、C、D) は異なるフラッシュモードに設定することができ、スレーブライトを操作する必要がありません。スレーブライト A/B/C/D は自動的に異なるフラッシュモードでワイヤレスマルチフラッシュ撮影を行います。マスターライトに設定された露光補正值は、手動でスレーブライトを設定する必要はなく、スレーブライトもマスターライトに追従して自動的に設定されます。

マスターライト

(フラッシュグループ A:TTL)(フラッシュグループ B:TTL)(フラッシュグループ C:M 手動フラッシュ)(フラッシュグループ D:M 手動フラッシュ)



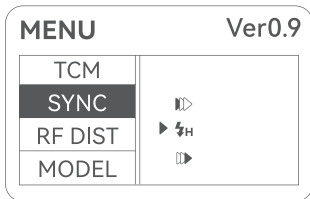
注

1. カメラの撮影モードを全自動モード又はプログラム映像制御エリアモードに設定した場合、本章での操作を行うことができません。ワイヤレスフラッシュを操作するには、カメラの撮影モードを P/TV/Av/M/B (クリエイティブ撮影エリアモード) に設定する必要があります。
2. 本章に記載するスレーブライトはすべて、別途購入する必要があります。
3. マスターフラッシュ出力はデフォルトでフラッシュグループ A です。
4. マスターライトとスレーブライトのチャンネル設定が一致しない場合は、スレーブライトがフラッシュしませんので、必ずマスターライトとスレーブライトのチャンネルを同じに設定してください。スレーブライトのチャンネル設定方法はスレーブライトの取扱説明書を参照してください。
5. 干渉を避けるために、マスターライトとスレーブライトの間に障害物を置かないでください。
6. ワイヤレスマルチフラッシュ撮影の前に、フラッシュの試験と撮影試験を行ってください。
7. フラッシュライトをマスターライト状態に設定する方法は、ワイヤレス設定項又はメニュー設定を参照してください。
8. フラッシュライトをスレーブライト状態に設定する方法は、ワイヤレス設定項又はメニュー設定を参照してください。
9. 上記の章では、デフォルトで MF-R76C をマスターライトとして使われています。

⚡H 高速同期

MF-R76C はカメラシャッターと最大速度で同期した高速フラッシュを発生させることができ、背景が柔らかいときに本体に合わせて写真を撮りたい場合には特に便利です。

- 1.MENU/ ロックボタンを短く押してメニュー設定画面に入ります。
2. 調整ダイヤルを <SYNC> に回します
- 3.SET ボタンを短押しして設定画面に入ります
4. 調整ダイヤルを回して <⚡H> を選択します
- 5.MENU/ ロックボタンを短押しして主画面に戻り、右上隅に <⚡H> が表示されます

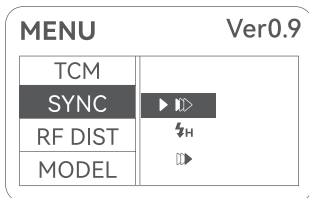


注：高速同期をオンにすると、M（手動）フラッシュの最小パワーは 1/64 です。

▶▶ フロントカーテン同期

フロントカーテンフラッシュとは、フロントカーテンが完全に開いた瞬間にフラッシュすることであり、一般的な撮影シーンに適します。

- 1.MENU/ ロックボタンを短押ししてメニュー設定画面に入ります。
2. 調整ダイヤルを <SYNC> に回します
- 3.SET ボタンを短押しして設定画面に入ります
4. 調整ダイヤルを回して <▶▶> を選択します
- 5.MENU/ ロックボタンを短押しして主画面に戻ります。



▶▶ リアカーテン同期

リアカーテンフラッシュとは、シャッターが完全に開いているときはフラッシュせず、リアカーテンが閉じる前の瞬間にフラッシュすることです、一般的にスローシャッター状態で使用されています。

- 1.MENU/ ロックボタンを短く押してメニュー設定画面に入ります。
2. 調整ダイヤルを <SYNC> に回します
- 3.SET ボタンを短押しして設定画面に入ります
4. 調整ダイヤルを回して <▶▶> を選択します
- 5.MENU/ ロックボタンを短押しして主画面に戻り、右上隅に <▶▶> が表示されます

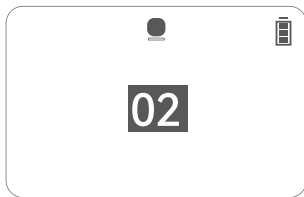
注：ワイヤレスマルチフラッシュ撮影（ワイヤレスマスター/ワイヤレススレーブ）では、リアカーテン同期を設定することはできません。



フォーカス補助ライトの設定

フォーカス補助ライトボタンを短押ししてフォーカス補助ライトをオン / オフにします。

フォーカス補助ライトの調整：フォーカス補助ライトをオンにした後、フォーカス補助ライトボタンを長押ししてフォーカスライトの調整画面に入り、調整ダイヤルを回して 01-10 段階調整できます。設定完了後にフォーカス補助ライトボタンを長押しして調整画面を終了します。

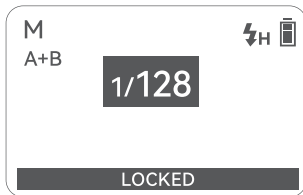


ロック機能

MENU/ ロックボタンを押して現在の画面をロック又はアンロックします。

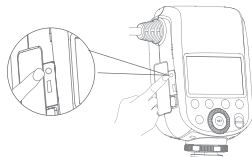
画面がロックされると、任意のボタンを押しても反応しない、撮影時の誤調整を防止することができます。

注：メニュー画面に入ると、MENU/ ロックボタンを押しても反応しない、ロックの役割を果たしません。



同期ジャックトリガー

同期ジャックはφ 2.5 mm であり、ここに同期ケーブルを挿入するか、トリガープラグがフラッシュライトに対して同期フラッシュするようにトリガーします。



過熱保護機能

フラッシュライトヘッドの過熱や破損を防止するために、1/1 階段で 30 回を超える高速連続フラッシュを行わないでください。30 回連続フラッシュをした後、フラッシュライトを最低 10 分間冷却する必要があります。

30 回以上の連続フラッシュを行った直後により多くのフラッシュを行うと、内部の過熱保護機能が有効になり、過熱保護機能が起動すると、表示画面の右上隅に < 🔒 > が表示されます。このような現象が発生した場合は、フラッシュライトを約 10 分間冷却させて正常状態に回復できます。

過熱保護機能を有効にする連続フラッシュ回数

階段	連続フラッシュ回数
1/1	60
1/2	80
1/4	150
1/8	200
1/16	340
1/32	540
1/64	1000
1/128	1000
1/256	1000

高速同期モードで過熱保護機能を有効にする連続フラッシュ回数

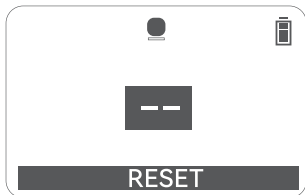
階段	連続フラッシュ回数
1/1	30
1/2	30
1/4	35
1/8	40
1/16	50
1/32	50
1/64	60

その他の保護








表示画面に	警告内容を表示する
E0	機器内部の温度センサーに故障が発生しました、修理してください。
E1	フラッシュライトの電力回収システムに異常が発生し、電力を回収してフラッシュライトをトリガーすることができません。再起動してください。解決できない場合は修理してください。
E2	機器内部の温度が高すぎます、フラッシュを 10 分間停止してください。
E3	フラッシュライト両側の電圧が高すぎます、修理してください。

ライト本体リセット

フォーカス補助ライトボタンと MENU ボタンを「RESET」が現れるまで同時に長押しし、「RESET」が消えた場合はリセットが完了したことを示します。



メニュー設定

メインオプション	サブオプション	の説明
WIRELESS(ワイヤレス)	OFF	ワイヤレス制御をオフ
	TX	マスターライトのワイヤレス制御をオン
	RX	スレーブライトのワイヤレス制御をオン
CH(チャンネル)	01-32	32個チャンネル選択可
ID(識別番号)	OFF	IDをオフ
	01-99	99個ID番号選択可
TX FLASH(マスターライトフラッシュ)		マスターライトとして使うとき、マスターライトのフラッシュをオフにします
		マスターライトとして使うとき、マスターライトのフラッシュをオンにします
TCM(TTL撮影値MからM値に変更)	OFF	オフ
	ON	オン(メニューからTCMをオンにした後、MODEボタンを短押ししてTCM変換を行うことができ、この機能はワイヤレスフラッシュや片側フラッシュの使用をサポートしません)
SYNC(同期)		フロントカーテン同期
		高速同期
		WIRELESS(ワイヤレス)がOFFになっている場合のみ、表示画面にリアカーテン同期のオプションが表示されます
RF DIST(フラッシュトリガー距離)	0.3-10m	フラッシュトリガー距離: 0.3-10m
	1-100m	フラッシュトリガー距離: 1-100m
MODEL(モード)	 CONT	造形ライトをオンにすると、フラッシュライトがフラッシュするとき、造形ライトが消灯しません
	 INTER	造形ライトをオンにすると、フラッシュライトがフラッシュするとき、造形ライトが消灯します
STBY(マスターライトスリープ)	ON	マスターライトとして使うとき、スリープをオンにします
	OFF	マスターライトとして使うとき、スリープをオフにします
RX STBY(スレーブライトスリープ)	60mins	スレーブライトとして使うとき、60分以上操作しないと、スリープ状態になります
	30mins	スレーブライトとして使うとき、30分以上操作しないと、スリープ状態になります
	OFF	スレーブライトとして使うとき、スリープをオフにします
BL(バックライト)	12secs	>12秒操作しないと、バックライトが自動的に消灯します。
	OFF	フラッシュライトのバックライトが消灯状態にあります
	ON	フラッシュライトのバックライトはずっと点灯します
LCD(表示画面コントラスト)	-3~+3	表示画面コントラスト、7レベル

仕様とパラメータ

名称	TTL マクロリングフラッシュライト
型番	MF-R76C
フラッシュ指数	GN14(ISO100、単位：メートル)
互換性のあるカメラ	キャノン
リチウム電池	7.2V/3000mAh
フラッシュパワー (1/1 階段)	76Ws
フラッシュ色温度	5900K ± 200K
フォーカス補助ライトパワー	0.7W*2
フォーカス補助ライト色インド	5300K ± 200K
フラッシュ階段	1/1-1/256(1/3 階段を増分として調整する)
フラッシュ持続時間	1/300s~1/20000s
フラッシュモード	TTL フラッシュ、M 手動フラッシュ
露出補正	-3~+3EV (露光値)、1/3 EV を増分として調整します
高速同期	備える
リアカーテン同期	備える
フロントカーテン同期	備える
ライト本体内径	77mm
電力回収時間	0.1-1s
フルパワーフラッシュ回数	550 回
ワイヤレス伝送距離	0-100m
チャンネル	32 グループ：01-32
ID 番号	99 個：01-99
動作周囲温度	-10~50° C
リングフラッシュライトのサイズ	130*130*27mm/5.1*5.1*1 インチ
コントローラサイズ	120*70*50mm/4.7*2.7*1.9 インチ
正味重量 (バッテリーを含む)	578 kg /20.39 オンス

上記のすべての規格は、GODOX の試験基準に基づく、機器の設計および仕様は予告なしに変更される場合があります。

対応できるソニーカメラリスト

80D、90D、7D、6D、70D、750D/760D、5DMarkIV、EOS 1DX、6DMarkII、77D、800D、5DMarkIII、5DMarkII、60D、7DMarkII、600D、50D、30D、500D、DigitaIX、M5、M50、R、RP、1500D、3000D

注

1. この表は、現在試験されているカメラモデルのみを記載しており、キャノンのすべてのモデルは含まれていません。他のカメラモデルは、ユーザーが自分で試験することができます。

2. 当社は、この表の内容を将来変更する権利を留保します。

トラブルシューティングガイドライン

使用中に問題が発生した場合は、このトラブルシューティングガイドラインを参照してください

現象	考えられる原因	解決策
フラッシュライトがフラッシュしない	正しく接続されていない	フラッシュライトのホットシューをカメラにしっかりと取り付けてください
	フラッシュライトとカメラとの電子接点が汚れている	フラッシュライトとカメラとの電子接点をきれいに清掃してください
電源が自動遮断	マクロフラッシュライトはマスターライトとして使うとき、MENUのSTBYはONを選択し、>90秒操作しないと、省エネのために、電源が自動的に遮断されます。	本体の任意のボタンを押してウェイクアップできます。
	マクロフラッシュライトはスレーブライトとして使うとき、メニューのRX STBYは60mins又は30minsを選択し、>60秒又は30秒操作しないと、省エネのために、電源が自動的に遮断されます。	本体の任意のボタンを押してウェイクアップできます。
起動できない	バッテリー残量不足又はバッテリー破損	完全に充電されたバッテリー又は新しいバッテリーを交換してください
スレーブライトとして使うときにフラッシュしない	スレーブライトが設定したフラッシュグループが正しくない：マスターライトのグループBはオフ状態にあり、スレーブライトのフラッシュグループはBに設定されている	スレーブライトのフラッシュグループを正しく設定してください
	マスターライトとスレーブライトが設定された伝送チャンネルが一致しない	マスターライトとスレーブライトを同じ伝送チャンネルに設定してください、例えばマスターライトのチャンネルを01、スレーブチャンネルも01に設定する
	スレーブライトはマスターライトのワイヤレス伝送範囲内がない	スレーブライトをマスターライトの伝送範囲内に設定してください、ワイヤレス伝送範囲は0-100mである
	マスターライトとスレーブライトが近すぎ、正常に伝送を行うことができない	フラッシュライトのフラッシュトリガー範囲を設定してください。MENU-RF DISTで0.3-10mに設定する。

ファームウェアのアップデート

1. この製品の USB ポートは、Type-C ポートであり、Type-C の USB ケーブルを使用してください (別途購入)。
2. ファームウェアのアップデートには、Godox G3 プログラムソフトウェアのサポートが必要です。ファームウェアをアップデートする前に公式ウェブサイト [https:// www.godox.com.cn](https://www.godox.com.cn) から「Godox G3 ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールし、対応するファームウェアファイルを選択してください。
3. 製品のファームウェアがアップデートされたので、説明書の最新電子版をご参照ください。

GODOX2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因および解決策：

1. **外部環境 2.4 G 信号干渉 (無線基地局、2.4 Gwifi ルータ、Bluetooth デバイスなど)**
→フラッシュライトのチャンネル CH 設定を調整し (+ 10 推奨)、干渉のないチャンネルを使用するか、使用中に他の 2.4G デバイスをオフにしてください。
2. **フラッシュライトが電力回収済又は回収速度が連写速度 (フラッシュ準備完了インジケータランプが点灯) に追従しており、過熱保護又はその他の異常状態にないことを確認してください。**
→フラッシュライトの段階値を下げてください。TTL モードの場合は M モードに変更してみてください (TTL モードでは 1 回のプリフラッシュが必要です)。
3. **マスターライトとスレーブライトとの距離が近すぎますか (距離 <0.5 m)**
→フラッシュライトのフラッシュトリガー範囲を設定してください。MENU-RF DIST で 0.3-10 m に設定する。
4. **フラッシュライトは低電力状態にあるか**
→バッテリーを交換してください。

メンテナンス

使用中でフラッシュの異常が発生した場合は、すぐに電源を切って原因を究明してください。ライト本体は振動を避け、表面をきれいに維持しなければなりません。ライト本体の発熱は正常な現象であり、特に必要がない場合は、連続的にフラッシュしないでください。フラッシュライトのすべての修理は、当社が指定された純正部品を供給できる修理部門によって行います。保証期間は 1 年です。消耗品であるライトなどは、1 年間の保証の対象外です。勝手にフラッシュライトを修理していることが判明した場合、フラッシュライトの 1 年間の保証期間をキャンセルし、かかる修理費用を請求します。技術的な変更は予告なしに行われることがあります。

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

適用品

本書類は『製品修理保証情報』（後記の説明をご覧ください。）に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品（セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等）はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授權されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効的な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間を超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適當に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適當に外部設備を挿したり抜いたりすること；落ちることや押しつぶすこと；不適當な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと；③神牛が授權されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法的な授權、標準街、公開されていないで発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれな、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外での部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器などの帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
そのほか	フラッシュチューブ、造形の電球、ケース、保護カバー、ロック装置、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：0755-29609320-8062